

令和6年度 食料自給率について

令和7年10月

農林水産省

目次

【食料自給率】

令和6年度食料自給率(カロリーベース・生産額ベース)	2
令和6年度食料自給率(摂取熱量ベース)	3
令和6年度食料自給率における各品目の寄与度と食料消費の構造(カロリーベース)	4
令和6年度食料自給率における各品目の寄与度と食料消費の構造(生産額ベース)	5
食料自給率の長期的推移	6
飼料自給率・食料国産率について	7

【都道府県別自給率】

都道府県別食料自給率の計算方法	8
都道府県別食料自給率(令和5年度概算値、令和4年度確定値)	9
都道府県別食料国産率(令和5年度概算値、令和4年度確定値)	10
都道府県別食料自給率の推移	11

【諸外国の食料自給率】

我が国と諸外国の食料自給率(試算)	12
-------------------------	----

【参考資料】

供給カロリーと食料消費額の国別構成(試算): 令和6年度	13
------------------------------------	----

令和6年度食料自給率(カロリーベース・生産額ベース)

カロリーベース食料自給率 38%

生産額ベース食料自給率 64%

【自給率の基本的考え方】

- 食料自給率とは、国内の食料全体の供給に対する食料の国内生産の割合を示す指標です。分子を国内生産、分母を国内消費仕向として計算されます。
- 単純に重量で計算することができる品目別自給率と、食料全体について共通の「ものさし」で単位を揃えることにより計算する総合食料自給率の2種類があります。このうち、総合食料自給率は、熱量で換算するカロリーベースと金額で換算する生産額ベースがあります。

【食料自給率の計算式】

$$\text{食料自給率} = \frac{\text{国内生産(輸出向けの生産を含む)}}{\text{国内生産(同上) + 輸入 - 輸出 \pm 在庫増減}}$$

$$\begin{aligned} \text{カロリーベース食料自給率} &= \frac{\text{国産供給熱量}}{\text{国内総供給熱量}} \\ &= \frac{1人 \cdot 1日 \text{ 当たり国産供給熱量} \text{ (860kcal/人 \cdot 日)}}{1人 \cdot 1日 \text{ 当たり総供給熱量} \text{ (2,248kcal/人 \cdot 日)}} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{生産額ベース食料自給率} &= \frac{\text{食料の国内生産額 (12.8兆円)}}{\text{食料の国内消費仕向額 (20.1兆円)}} \\ &= \frac{\text{国内生産量} \times \text{国産単価} - \text{飼料輸入額} - \text{原料輸入額}}{\text{国内生産量} \times \text{国産単価} + \text{輸入量} \times \text{輸入単価}} \end{aligned}$$

令和6年度食料自給率(摂取熱量ベース)

$$\begin{array}{l} \text{摂取熱量ベース} \\ \text{食料自給率} \end{array} = \frac{\text{1人1日当たり国産供給熱量(860kcal)}}{\text{平時における国民の日常生活に必要な摂取熱量(1,850kcal)}} = \boxed{46\%}$$

- 令和7年食料・農業・農村基本計画では、平時において国民の日常生活に必要な摂取熱量のどの程度が国産で賄われているかを示す指標である「摂取熱量ベース」の食料自給率が設定されました。
- 摂取熱量ベースの食料自給率は、分母を「平時における国民の日常生活に必要な摂取熱量(1,850kcal(※))」として算定します。

※ 1,850kcalという数値については、①日本人の成人男性の基礎代謝量が、1,300kcalから1,600kcal程度であり、それを上回る水準であること、②平時における1人1日当たりの平均摂取熱量(国民健康・栄養調査(厚生労働省))の最低値が1,849kcal(2010年)であること、を参考に設定しています。

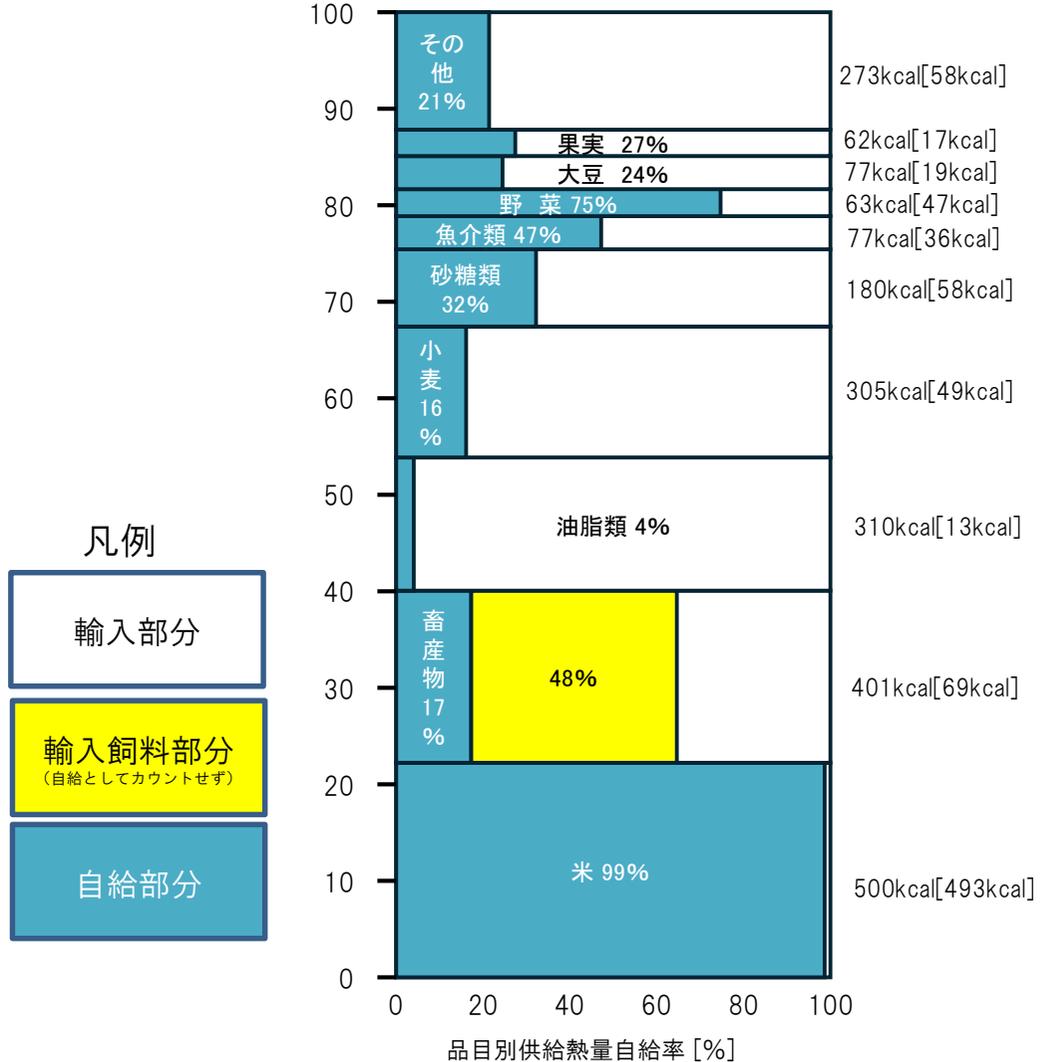
令和6年度食料自給率における各品目の寄与度と食料消費の構造(カロリーベース)

○ カロリーベースの食料自給率については、米について、主食用米の消費量が増加したこと及び砂糖について、国産てん菜・さとうきびの生産量が増加し産糖量が増加したことがプラス要因となる一方で、小麦の単収減少により生産量が減少、この他、大豆、野菜、魚介類の生産量も減少したことがマイナス要因となり、前年度並みの38%となりました。

○カロリーベース

品目	国産熱量		総供給熱量		寄与度 (ポイント)	備考
		対前年度差		対前年度差		
米	493kcal	+23kcal	500kcal	+30kcal	+0.5	1人1年当たり消費量の増加+6% (50.3kg→53.4kg)
小麦	49kcal	▲5kcal	305kcal	+13kcal	▲0.4	単収減少により、 生産量の減少▲6% (109万トン→103万トン)
いも類	26kcal	0kcal	40kcal	+1kcal	0.0	
でん粉	12kcal	+1kcal	152kcal	+1kcal	0.0	
大豆	19kcal	▲1kcal	77kcal	+2kcal	▲0.1	単収減少により、 生産量の減少▲3% (26万トン→25万トン)
野菜	47kcal	▲2kcal	63kcal	▲1kcal	▲0.1	生産量の減少(キャベツ、だいこん、たまねぎ等)▲4% (1,089万トン→1,048万トン)
果実	17kcal	▲1kcal	62kcal	▲2kcal	0.0	
畜産物	69kcal	0kcal	401kcal	+4kcal	▲0.1	
魚介類	36kcal	▲2kcal	77kcal	0kcal	▲0.1	生産量の減少(ホタテガイ、マイワシ、サケ類等)▲4% (347万トン→332万トン)
砂糖類	58kcal	+12kcal	180kcal	+2kcal	+0.5	国産てん菜・さとうきびの 産糖量の増加+25% (54万トン→67万トン)
油脂類	13kcal	0kcal	310kcal	0kcal	0.0	
その他	20kcal	▲2kcal	80kcal	+2kcal	▲0.1	
合計	860kcal	+24kcal	2,248kcal	+51kcal	+0.2	

供給熱量 2,248kcal / 人・日
[国産供給熱量 860kcal / 人・日]



【令和6年度】

(カロリーベース食料自給率 38%)

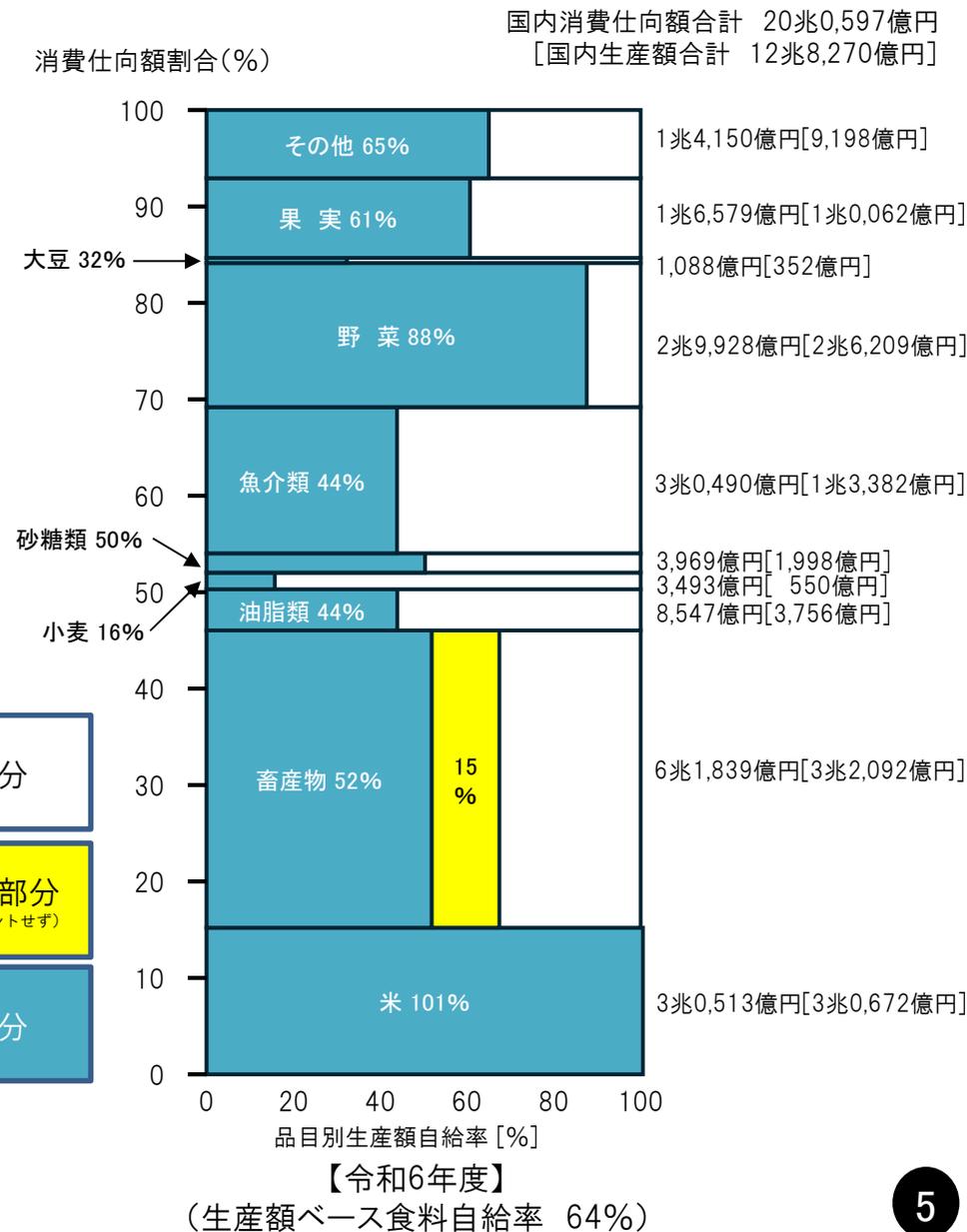
※ 四捨五入の関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。

令和6年度食料自給率における各品目の寄与度と食料消費の構造(生産額ベース)

○ 生産額ベースの食料自給率については、国内生産額の増加により、前年度比+3ポイントの64%となりました。特に、米、野菜、畜産物の国内価格上昇に伴い、それらの国内生産額が増加しました。一方で、魚介類の国内生産量の減少に伴い、魚介類の国内生産額が減少しました。

○生産額ベース

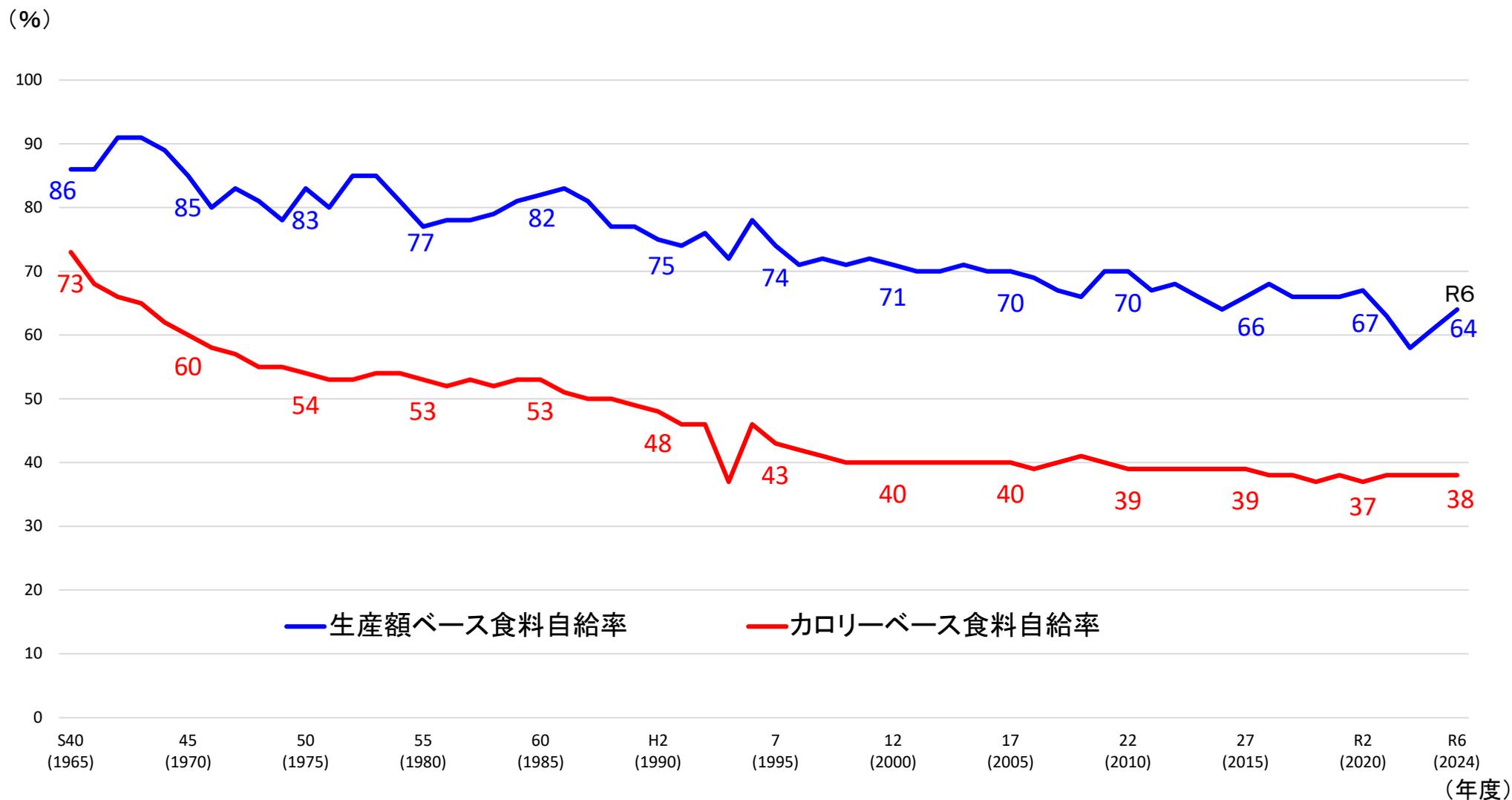
品目	食料の国内生産額		食料の国内消費仕向額		寄与度 (ポイント)	備考
		対前年度差		対前年度差		
米	3兆0,672億円	1兆2,602億円	3兆0,513億円	1兆2,599億円	+2.5	国産単価の上昇(+64%)により国内生産額が増加
小麦	550億円	▲163億円	3,493億円	▲139億円	0.0	
いも類	1,996億円	+153億円	3,440億円	+290億円	0.0	
でん粉	540億円	▲183億円	1,653億円	▲322億円	0.0	
大豆	352億円	▲82億円	1,088億円	▲151億円	0.0	
野菜	2兆6,209億円	+3,319億円	2兆9,928億円	+3,657億円	+0.5	国産単価の上昇(+19%)により国内生産額が増加
果実	1兆0,062億円	+729億円	1兆6,579億円	+1,347億円	▲0.1	
畜産物	3兆2,092億円	+1,632億円	6兆1,839億円	+1,489億円	+0.4	国産単価の上昇(豚肉+9%)により国内生産額が増加
魚介類	1兆3,382億円	▲737億円	3兆0,490億円	▲370億円	▲0.3	生産量の減少(▲4%)により国内生産額が減少
砂糖類	1,998億円	+91億円	3,969億円	+83億円	0.0	
油脂類	3,756億円	+53億円	8,547億円	+19億円	0.0	
その他	6,662億円	+9億円	9,057億円	+561億円	▲0.2	カカオ豆の輸入単価の上昇(+140%)により輸入額が増加
合計	12兆8,270億円	1兆7,422億円	20兆0,597億円	1兆9,062億円	+2.9	



※ 四捨五入の関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。

食料自給率の長期的推移

○ 食料自給率は、長期的に見ると、米の消費が減少する一方で畜産物や油脂類の消費が増大する等の食生活の変化により、低下傾向が続いてきましたが、2000年代に入ってから概ね横ばい傾向で推移しています。



飼料自給率・食料国産率について

飼料自給率・食料国産率

$$\text{飼料自給率} = \frac{\text{純国内産飼料供給量(6,200 TDN千トン)}}{\text{飼料供給量(23,677 TDN千トン)}}$$

26%

※TDNトン: 可消化養分総量 (Total Digestible Nutrients) の略で家畜が消化できる養分の総量

$$\text{カロリーベースの食料国産率} = \frac{\text{1人1日当たり国産供給熱量(1,064kcal)}}{\text{1人1日当たり供給熱量(2,248kcal)}}$$

47%

$$\text{生産額ベースの食料国産率} = \frac{\text{食料の国内生産額(13.8兆円)}}{\text{食料の国内消費仕向額(20.1兆円)}}$$

69%

- 総合食料自給率は、「国内生産」を厳密にとらえるため、輸入飼料による畜産物の生産分を除いて計算しており、これは食料安全保障を図る上で基礎的な目標です。
- 令和2年食料・農業・農村基本計画以降、国内畜産業の生産基盤に着目し、その強化を図っていくことを評価するため、飼料自給率とあわせて、輸入飼料による畜産物の生産分を除かない「食料国産率」が公表されました。

	カロリーベース 食料自給率	カロリーベース 食料国産率	差
総合	38%	47%	9ポイント
畜産物	17%	65%	48ポイント
牛肉	14%	50%	36ポイント
豚肉	6%	48%	42ポイント
鶏肉	8%	64%	56ポイント
鶏卵	12%	98%	86ポイント
牛乳・乳製品	29%	64%	35ポイント

都道府県別食料自給率の計算方法

都道府県別の食料自給率(食料国産率)については、国全体の総合食料自給率の基となるデータや都道府県ごとの統計データを基にして算出。

(1) カロリーベース

$$\text{カロリーベースの都道府県別食料自給率} = \frac{\text{1人・1日当たりの各都道府県産熱量}}{\text{1人・1日当たりの供給熱量}}$$

- ・ 分母となる1人・1日当たり供給熱量は、全国の1人・1日当たり供給熱量(令和5年度(確定値)は2,197kcal)と同じとしている。
- ・ 分子となる1人・1日当たり各都道府県産熱量は、品目ごとに全国の国産供給熱量を当該県の生産量等に応じて按分して、全品目を合計し、これを当該県の人口で割って算出している。

(2) 生産額ベース

$$\text{生産額ベースの都道府県別食料自給率} = \frac{\text{各都道府県の食料生産額}}{\text{食料消費仕向額}}$$

- ・ 分母となる食料消費仕向額については、全国の食料消費仕向額(令和5年度(確定値)は18.2兆円)を当該県の人口に応じて按分して算出している。
- ・ 分子となる各都道府県の食料生産額は、品目ごとに全国の国内生産額を当該県の産出額等に応じて按分し、全品目を合計して算出している。

都道府県別食料自給率(令和5年度概算値、令和4年度確定値)

(単位：%)

(単位：%)

	カロリーベース			生産額ベース		
	令和4年度 (確定値)	令和5年度 (概算値)	前年度 との差	令和4年度 (確定値)	令和5年度 (概算値)	前年度 との差
全 国	38	38	0	58	61	+ 3
北海道	217	213	▲ 4	200	204	+ 4
青 森	116	123	+ 7	217	229	+ 12
岩 手	106	109	+ 3	177	195	+ 18
宮 城	69	75	+ 6	82	85	+ 3
秋 田	196	202	+ 6	129	137	+ 8
山 形	145	148	+ 3	165	167	+ 2
福 島	75	79	+ 4	80	86	+ 6
茨 城	68	69	+ 1	104	111	+ 7
栃 木	68	73	+ 5	89	96	+ 7
群 馬	34	34	0	85	89	+ 4
埼 玉	10	10	0	13	14	+ 1
千 葉	24	25	+ 1	47	51	+ 4
東 京	0	0	0	2	2	0
神奈川	2	2	0	10	11	+ 1
新 潟	117	114	▲ 3	97	95	▲ 2
富 山	79	77	▲ 2	54	54	0
石 川	47	48	+ 1	42	44	+ 2
福 井	66	66	0	47	50	+ 3
山 梨	20	20	0	95	93	▲ 2
長 野	54	55	+ 1	130	131	+ 1
岐 阜	26	27	+ 1	42	44	+ 2
静 岡	15	16	+ 1	47	53	+ 6
愛 知	12	12	0	28	31	+ 3
三 重	40	41	+ 1	55	62	+ 7

	カロリーベース			生産額ベース		
	令和4年度 (確定値)	令和5年度 (概算値)	前年度 との差	令和4年度 (確定値)	令和5年度 (概算値)	前年度 との差
全 国	38	38	0	58	61	+ 3
滋 賀	51	49	▲ 2	32	32	0
京 都	12	12	0	19	20	+ 1
大 阪	1	1	0	5	6	+ 1
兵 庫	16	16	0	35	40	+ 5
奈 良	15	15	0	19	21	+ 2
和歌山	30	29	▲ 1	101	100	▲ 1
鳥 取	61	60	▲ 1	122	125	+ 3
島 根	64	66	+ 2	97	103	+ 6
岡 山	37	37	0	59	68	+ 9
広 島	22	23	+ 1	39	42	+ 3
山 口	32	31	▲ 1	41	42	+ 1
徳 島	41	42	+ 1	108	108	0
香 川	34	34	0	78	86	+ 8
愛 媛	36	37	+ 1	114	119	+ 5
高 知	44	47	+ 3	152	162	+ 10
福 岡	21	21	0	33	33	0
佐 賀	99	102	+ 3	134	136	+ 2
長 崎	40	43	+ 3	135	140	+ 5
熊 本	60	62	+ 2	146	154	+ 8
大 分	46	47	+ 1	101	103	+ 2
宮 崎	63	64	+ 1	255	267	+ 12
鹿 児 島	80	81	+ 1	255	261	+ 6
沖 縄	34	30	▲ 4	44	41	▲ 3

資料：農林水産省等のデータを用いて、農林水産省がEYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社に業務委託して試算。

都道府県別食料国産率(令和5年度概算値、令和4年度確定値)

(単位：%)

(単位：%)

	カロリーベース			生産額ベース		
	令和4年度 (確定値)	令和5年度 (概算値)	前年度 との差	令和4年度 (確定値)	令和5年度 (概算値)	前年度 との差
全 国	47	47	0	65	67	+ 2
北海道	263	258	▲ 5	221	223	+ 2
青 森	147	154	+ 7	241	251	+ 10
岩 手	159	163	+ 4	218	235	+ 17
宮 城	79	85	+ 6	90	92	+ 2
秋 田	211	218	+ 7	140	147	+ 7
山 形	156	158	+ 2	174	175	+ 1
福 島	84	89	+ 5	87	92	+ 5
茨 城	85	84	▲ 1	117	121	+ 4
栃 木	90	93	+ 3	103	109	+ 6
群 馬	57	58	+ 1	102	104	+ 2
埼 玉	11	11	0	14	15	+ 1
千 葉	31	32	+ 1	52	56	+ 4
東 京	0	0	0	2	2	0
神奈川	2	2	0	10	12	+ 2
新 潟	125	121	▲ 4	104	100	▲ 4
富 山	82	80	▲ 2	56	56	0
石 川	50	51	+ 1	45	46	+ 1
福 井	69	69	0	49	51	+ 2
山 梨	23	24	+ 1	98	96	▲ 2
長 野	58	58	0	132	133	+ 1
岐 阜	33	34	+ 1	47	50	+ 3
静 岡	21	22	+ 1	50	56	+ 6
愛 知	16	16	0	31	33	+ 2
三 重	50	52	+ 2	62	69	+ 7

	カロリーベース			生産額ベース		
	令和4年度 (確定値)	令和5年度 (概算値)	前年度 との差	令和4年度 (確定値)	令和5年度 (概算値)	前年度 との差
全 国	47	47	0	65	67	+ 2
滋 賀	52	51	▲ 1	34	33	▲ 1
京 都	15	15	0	20	21	+ 1
大 阪	1	1	0	5	6	+ 1
兵 庫	20	20	0	38	43	+ 5
奈 良	17	17	0	20	22	+ 2
和歌山	31	30	▲ 1	102	100	▲ 2
鳥 取	78	79	+ 1	137	138	+ 1
島 根	76	78	+ 2	106	110	+ 4
岡 山	52	53	+ 1	70	78	+ 8
広 島	31	31	0	45	47	+ 2
山 口	37	36	▲ 1	45	46	+ 1
徳 島	54	54	0	119	118	▲ 1
香 川	52	52	0	90	98	+ 8
愛 媛	45	47	+ 2	120	125	+ 5
高 知	48	51	+ 3	155	165	+ 10
福 岡	23	23	0	35	35	0
佐 賀	110	114	+ 4	146	146	0
長 崎	53	57	+ 4	147	151	+ 4
熊 本	80	82	+ 2	163	169	+ 6
大 分	58	60	+ 2	111	112	+ 1
宮 崎	132	138	+ 6	318	324	+ 6
鹿 児 島	146	152	+ 6	318	318	0
沖 縄	42	39	▲ 3	51	46	▲ 5

資料：農林水産省等のデータを用いて、農林水産省がEYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社に業務委託して試算。

都道府県別食料自給率の推移

(単位：%)

	カロリーベース											
	平成						令和					
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (概算値)	
全国	39	39	39	38	38	37	38	37	38	38	38	38
北海道	198	207	222	185	206	196	216	217	223	217	213	213
青森	118	124	124	120	117	120	123	125	120	116	123	123
岩手	105	111	110	103	101	106	107	105	108	106	109	109
宮城	74	76	73	72	70	74	73	72	72	69	75	75
秋田	181	191	197	192	188	190	205	200	204	196	202	202
山形	136	142	142	139	137	135	145	143	147	145	148	148
福島	76	77	77	75	75	78	78	77	75	75	79	79
茨城	72	75	70	70	72	70	66	68	70	68	69	69
栃木	75	73	70	70	68	73	71	71	71	68	73	73
群馬	34	33	33	32	33	33	32	32	33	34	34	34
埼玉	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
千葉	28	28	27	27	26	26	24	24	24	24	25	25
東京	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
神奈川	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
新潟	104	105	105	112	103	107	109	111	109	117	114	114
富山	76	78	83	79	76	78	76	75	77	79	77	77
石川	49	48	51	49	47	48	47	46	46	47	48	48
福井	65	64	68	68	66	66	66	64	65	66	66	66
山梨	19	19	19	20	19	19	19	18	19	20	20	20
長野	53	52	54	53	54	53	53	51	52	54	55	55
岐阜	26	26	25	24	25	24	25	24	25	26	27	27
静岡	17	17	17	17	16	16	15	15	16	15	16	16
愛知	13	13	12	12	12	11	12	11	12	12	12	12
三重	43	43	42	42	40	40	39	38	40	40	41	41
滋賀	50	50	51	51	49	48	49	47	49	51	49	49
京都	13	12	13	12	12	12	12	11	12	12	12	12
大阪	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
兵庫	16	16	16	16	16	16	15	15	16	16	16	16
奈良	15	14	15	15	14	14	14	13	14	15	15	15
和歌山	30	30	30	29	28	28	28	27	29	30	29	29
鳥取	62	62	63	62	63	62	61	60	61	61	60	60
島根	67	65	65	66	67	66	61	60	63	64	66	66
岡山	37	36	36	36	37	36	36	35	36	37	37	37
広島	24	23	23	23	23	22	21	21	22	22	23	23
山口	32	31	32	32	32	32	29	24	31	32	31	31
徳島	45	43	42	43	42	41	41	41	40	41	42	42
香川	37	34	34	35	34	33	33	33	33	34	34	34
愛媛	37	37	37	37	36	36	35	34	37	36	37	37
高知	48	47	47	46	47	47	43	43	45	44	47	47
福岡	20	20	20	19	20	20	19	17	20	21	21	21
佐賀	91	91	93	87	93	95	72	85	95	99	102	102
長崎	44	44	46	45	47	45	39	38	41	40	43	43
熊本	59	60	58	58	58	59	56	55	58	60	62	62
大分	48	49	46	47	47	47	42	40	46	46	47	47
宮崎	67	67	66	66	65	64	60	61	64	63	64	64
鹿児島	88	84	84	87	82	79	78	77	79	80	81	81
沖縄	27	30	25	36	33	27	34	32	32	34	30	30

(単位：%)

	生産額ベース											
	平成						令和					
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (概算値)	
全国	66	64	66	68	66	66	66	67	63	58	61	61
北海道	206	208	212	209	204	214	211	219	224	200	204	204
青森	215	223	235	260	236	238	241	254	245	217	229	229
岩手	179	178	182	188	194	200	199	217	195	177	195	195
宮城	85	82	84	87	91	93	96	93	83	82	85	85
秋田	138	120	123	134	141	150	163	160	139	129	137	137
山形	169	156	163	168	173	181	191	191	177	165	167	167
福島	91	81	85	89	88	92	93	95	85	80	86	86
茨城	125	121	125	133	136	120	122	125	114	104	111	111
栃木	113	105	112	120	106	108	110	112	99	89	96	96
群馬	94	95	101	103	100	93	96	105	94	85	89	89
埼玉	22	21	21	22	20	17	17	17	15	13	14	14
千葉	67	66	66	70	68	62	60	61	52	47	51	51
東京	4	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2
神奈川	13	12	13	14	13	11	12	12	11	10	11	11
新潟	114	105	98	104	104	108	112	113	102	97	95	95
富山	65	59	58	61	60	63	63	61	55	54	54	54
石川	54	49	49	52	50	51	50	49	44	42	44	44
福井	54	51	51	55	57	58	59	55	49	47	50	50
山梨	83	79	77	85	83	87	85	93	103	95	93	93
長野	120	119	123	126	125	130	134	147	135	130	131	131
岐阜	47	45	48	48	44	43	43	45	43	42	44	44
静岡	53	53	55	57	57	54	53	52	51	47	53	53
愛知	34	32	32	33	34	32	32	33	30	28	31	31
三重	69	65	65	66	65	63	64	63	61	55	62	62
滋賀	38	34	34	36	37	37	38	36	34	32	32	32
京都	22	21	24	22	20	19	19	19	19	19	20	20
大阪	5	5	5	5	5	6	6	6	6	5	6	6
兵庫	35	36	37	40	38	38	38	37	37	35	40	40
奈良	25	22	22	25	23	22	23	23	21	19	21	21
和歌山	100	96	101	113	116	113	110	120	119	101	100	100
鳥取	116	116	120	131	131	130	135	143	129	122	125	125
島根	99	93	94	103	101	105	106	106	100	97	103	103
岡山	62	59	60	65	63	60	62	65	61	59	68	68
広島	38	36	38	39	39	38	39	40	39	39	42	42
山口	46	43	42	45	45	44	44	42	44	41	42	42
徳島	124	117	127	132	122	113	116	120	113	108	108	108
香川	88	85	91	99	93	90	92	93	85	78	86	86
愛媛	120	107	109	122	112	114	114	112	116	114	119	119
高知	147	147	158	164	169	175	170	171	168	152	162	162
福岡	42	39	40	40	39	37	36	37	34	33	33	33
佐賀	142	144	150	155	152	151	136	152	142	134	136	136
長崎	136	137	141	143	147	139	145	143	144	135	140	140
熊本	153	149	152	159	156	158	159	164	160	146	154	154
大分	126	128	123	125	113	115	114	115	113	101	103	103
宮崎	266	278	285	293	281	281	284	303	287	255	267	267
鹿児島	236	249	259	264	268	265	275	285	272	255	261	261
沖縄	52	55	53	57	57	63	63	64	52	44	41	41

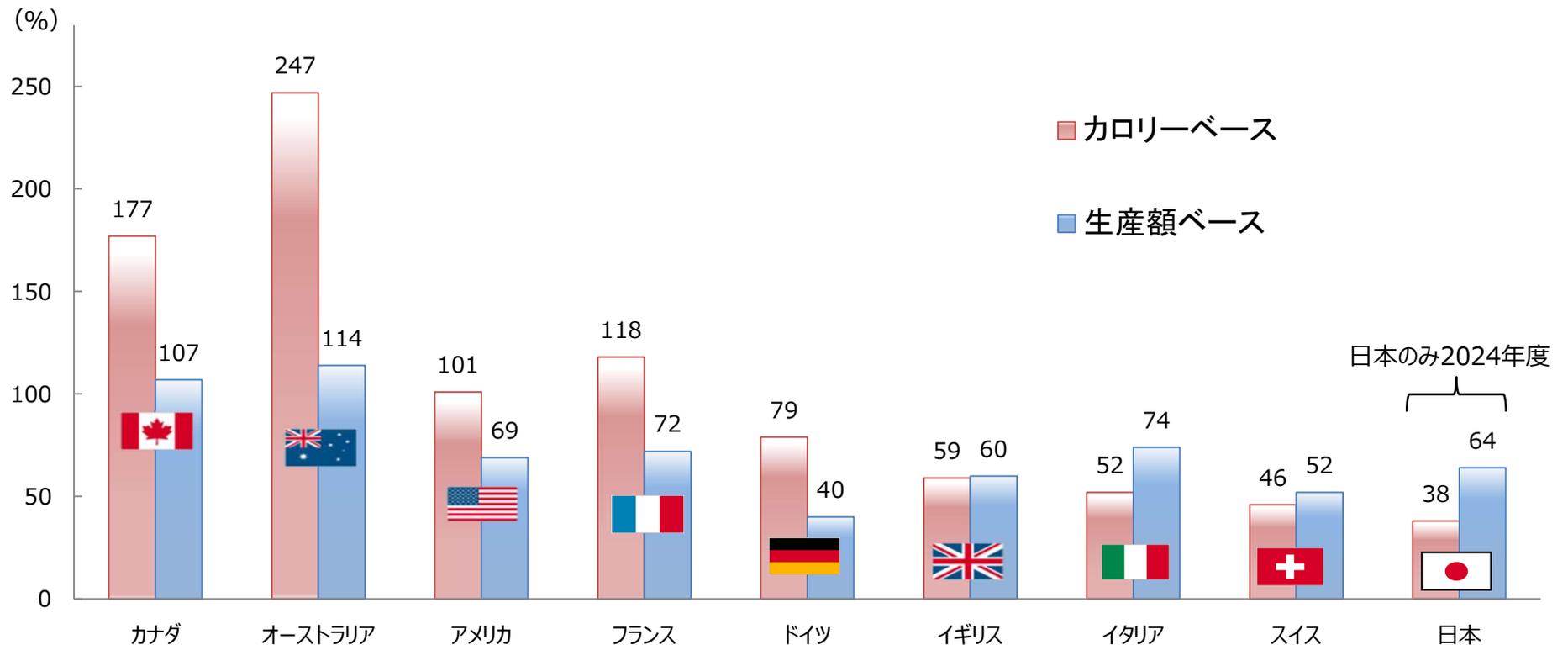
資料：令和4年度以降は、農林水産省等のデータを用いて、農林水産省がEYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社に業務委託して試算。

注：令和2年度、令和3年度及び令和4年度の数値について、算出に不備があったため、数値を訂正。

我が国と諸外国の食料自給率(試算)

- 諸外国の食料自給率の試算値を比較すると、
 - ① カロリーベースについては、国内の消費人口が小さく、カロリーベースに寄与する穀物、油糧種子等の生産量が多いカナダ、オーストラリア等の国が上位に位置づけられる一方、
 - ② 生産額ベースについては、野菜・果実等の輸出量が多いイタリアがドイツ、イギリスを上回るなど、カロリーに比して価格の高い野菜・果実、畜産物の動向がより反映される傾向にあります。
- 我が国の食料自給率は、諸外国と比較すると、カロリーベース、生産額ベースともに低い水準にあります。

○ 我が国と諸外国の食料自給率 (2022年)



資料：農林水産省「食料需給表」、FAO「Food Balance Sheets」等を基に、カロリーベース食料自給率は農林水産省が東京大学デジタルオブザバトリ研究推進機構と連携、生産額ベース食料自給率は農林水産省がEYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社に業務委託して試算（いずれもアルコール類等は含まない）。

注1：数値は暦年（日本のみ年度）。スイス（カロリーベース）及びイギリス（生産額ベース）については、各政府の公表値を掲載。

注2：畜産物及び加工品については、輸入飼料及び輸入原料を考慮して計算。

